

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第四回ディズニー・チャンネル放送番組審議会
議事録

開催日時： 2005年4月15日(金) 17:30～19:30
開催場所： 東京都港区
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナショナル
ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 5
出席審議委員氏名 : 加藤 諦三(議長)
木下 美子
前田 耕作
中川 真弥
柳生 純磨

その他、ディズニー : エディー・カックス
からの出席者 (バイス・プレジデント/編成部)
待鳥 雅之
(コンプライアンス・スーパーバイザー/編成部)
佐藤 知恵
(ディズニー365、ディズニーパラダイス、DVD Dash、
プロデューサー/編成部)

議案

- 1) ディズニー・チャンネル番組編成について
- 2) ディズニー・チャンネル放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にVHSテープを送付した。)
「クワック・パック」
「ブランディ アンド Mr.ウィスカーズ」
「Hello! オズワルド」
「サブリーナ」
「ディズニー365」
- 3) 編成制作部より：視聴者からのコメント等について

審議の概要

1) ディズニー・チャンネル番組編成について

エディー・カックスより、ディズニー・チャンネルおよびその番組編成及び改編について説明がなされ、また、昨年 11 月に行われた視聴率調査結果について報告がなされた。

2) ディズニー・チャンネル放送番組について

(以下 印 審議委員からの意見及び質問、 印 ディズニーからの出席者の回答)

『クワック・バック』に関するコメント

新しいキャラクターを出して、逆に苦労しているのだろうという感が強い。

画面が単純で分かりやすい。

小学生に聞いてみたところ、よく見ている様だ。(但しよく理解できないのは歳のせいかな。)

やはり、ディズニーキャラクターということで、同様の特徴は見られる。

『ブランディ アンド Mr.ウィスカーズ』に関するコメント

既存のディズニー作品と比較すると、少々強烈な印象が強いので市場がどう受け入れるか心配ではある。

敢えてこの路線でいくのもよいのではないかな

二重丸！

大人の受けも悪くないと思う。

『バーバリアン・デイブ』も大変子ども受けがよいため、期待できる。

『Hello! オズワルド』に関するコメント

キャラクターの丸っこい形状が人気の原因のひとつではないかと考えている。

アメリカの Web Designer のコメントであるが、将来は手で描いたものではなく、CG っぽいものが受けると聞いている。(対象年齢は特に限定してない。)

日本語もやさしく、言葉も短いのでよい。

『サブリーナ』に関するコメント

対象年齢は『リジー & Lizzie』に近い年齢と考えている。

主人公のリジーの生活が視聴者の日常生活と共通点があるため、リジーとは接点を見つけやすいが、魔女となると接点を見つけにくいかもしれない。

いじめられたりする部分が気になるが、やり返す部分が痛快である。20代の女性に受けるかもしれない。

「ひとまねこざる」= やりたいけど出来ないことをやってくれる、というニュアンスで子ども受けは良い。

大人の受けもよいと思う。

3) 視聴者からのコメント等について

「アニメーション番組と実写番組のバランスについて」:

現在の、全放送時間に対するアニメーション番組と実写番組の放送時間の割合についてご意見を伺いたい。

ディズニーというと、アニメーション作品の印象が強く、視聴者としてはそういった作品を強く期待している。

ディズニークラシック短編集をわざわざ録画して週末に見る視聴者もいる。

テレビでミッキーを放送していないと、ミッキーのDVDを見たりしている。

クラシックのイメージを保ちつつ、新しいキャラクターや番組の浸透を図りたい。

ディズニーというと、アニメーション作品の印象が強く、視聴者としてはそういった作品を強く期待する。

「『アートアタック』に関して、視聴者の方からのコメント」:

『アートアタック』は、身近なものを使って工作するのがコンセプトの作品を紹介している。(例えば、スポンジに絵の具を吸わせて絵を描く等。) 番組では、代用できるものの一例として、食パンを使って作る作品を紹介した。番組内において、「賞味期限切れや食べられなくなったパンを使ってね」と前置きをしたうえでの代案紹介だったが、「視聴者の方からは子どもが食パンを使って遊ぶようになってしまったので、食品を扱ったエピソードはやめてほしい」とのコメントを頂戴した。

理屈としては正しいが、ただし、感情的に正しいかどうかは判断できない。

世界で飢餓問題がある中、食品を使うこと自体いかなものかというご意見ではないか。

マカロニを使って絵を描いたり作品を作ったりすることは多いが、パンが問題なのであろうか。

ディズニーではやらないと思っていたのに放送されたという意見ではないか。

ディズニークラシック短編集をわざわざ録画して週末に見る視聴者もいる。子どもを持っている母親としては、子どもに安心して見せられるチャンネルというイメージが強いのであろう。

説明をしなければならないようであれば、最初から放送しないほうが賢明ではないか。

ユニークな案なので、安易にカットするのもつまらない。

編集して過剰防衛すると現実味に欠け、また作品事態の持ち味を損ないかねない。

母親が、子どもの躰にとっても苦労している背景があるのではないか。どうしても子どもは親よりもテレビや第三者からの意見に影響されやすい。特にテレビの影響は強く、「テレビ=正しい」と思いがちである。逆に言えば、親がその逆説をきちんと説明する、子どもに考えさせることが重要であると考えている。

廃棄物の有効利用としてこういう活かし方もある、という方法での紹介をしてみてはどうか。

「『Disney365』、その他、日本国内にて制作されている番組について」:

ディズニー365 番組プロデューサー佐藤より番組概要について説明がなされた。

番組で提供された情報は毎日ホームページに掲載する方法をとっている。全てが掲載されているほうが便利であると考えている。

少々あわただしい感は否めない。もう少しゆっくりやってほしい。

ディズニー好きな方への情報提供番組ということで良いと思う。

以前見て良いと感じた番組は、子どもたちが自分のしているお稽古事をアピールする番組（『Starway』）。子どもたちが主役の番組は見ていて大変気持ちがいい。

自分の子どもがテレビに出ていることは最近の親たちには受けが良い。

いつも騒がしい感があるので、自然を紹介する番組（例：春＝自然の暖かさが伝わるような番組）があるとよいのではないかと。

季節感が感じられる番組というのはとても良い！四季＝日本の雰囲気であるから。

ビデオレター的に、日本各地の子どもたちが自分の住んでいるところと季節を紹介する番組は良いのではないかと。『ファンタジア』のようなイメージの作品がディズニーであれば作れるのではないかと期待している。

環境ビデオ、エコロジー教育の出来る番組があるとよいのではないかと。

以上をもって本会議は、議会の審議全てを終了したので 19:30 閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。